

長崎純心大学



学生相談室だより

第31号
2016. 4. 18発行

学生相談室のご案内
開室曜日：月曜日～金曜日
開室時間：12:00～16:00
場 所：保健センター内

色とりどりの花々が咲き始め、新緑が美しい、さわやかな季節となりました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい生活には慣れてきましたか？ 2年生以上のみなさんは、新しい学年を迎え、気持ちを新たにしていることでしょうか。学生生活の中で、戸惑いを感じることもあると思いますが、焦らずゆっくりと慣れていってくださいね。悩みを誰かに聞いて欲しいとき、相談をしたいときなど、学生相談室を気軽にご利用ください。カウンセラーからのメッセージで新しい何かを感じることができるといいですね。

～ カウンセラーからひとこと ～

「皆さん、はじめまして」

深井 薫（月曜日担当）

新入生の皆さん、新しい学年に進級された皆さん、はじめまして。私は、この春から、学生相談室の相談員を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年度が始まりました。皆さんは新しい生活に慣れてきましたか？ 私は学生生活を過ごしたこの大学に10年振りに戻ってきましたが、新たに校舎も増えていて…。目的地にたどり着くまで、あたふたキョロキョロと右往左往しています。まずは、新入生の皆さんと一緒に、新しい環境に慣れることから始めようと思います。

新たな学校生活の中では、さまざまな環境の変化に適応しようとして、無理して頑張りすぎたり、身体がきつい、やる気が出ない、気分が落ち込むなど、こころとからだに不調が出る場合があります。そのようなときは、自分で何か試してみるもよし、誰かに話してみるもよし。もし、うまくいかないときには、ほっと気持ちを休めに学生相談室にお越し下さい。皆さんのいろいろな悩みを一緒に考えて、こころとからだを整えるお手伝いができればと思います。皆さんとの出会いを楽しみにお待ちしております。



「海難 1890」を観て…

川浪 由喜子（火・水・金曜日担当）

日本・トルコ合作「海難 1890」という映画を観ました。1890年9月、オスマン帝国（現トルコ）の軍艦が、和歌山県大島樫野崎（現串本町）で台風遭遇し、500名を超える死者が出るという大規模な海難事故が起こったのですが、地元住民の献身的な救助活動によって、69名の命が奇跡的に救われました。この事は、トルコの教科書にも取り上げられて後世まで伝えられていましたが、これが、1985年3月、イラン・イラク戦争が長期化する中、テヘランに残された日本人215名がトルコの救援機によって救われるという出来事に（日本はテヘランへの定期便を持っていなかったため、救援機の派遣ができなかった）つながったというお話でした。

これだけでは、この映画を観た時の感動をうまく伝えることはできませんが、物質主義、利己主義が蔓延し、「いのち」よりもお金が重視される風潮の中で、人間の本質とは何かということを深く考えさせられました。皆さんも、よかったら、この映画を観ていただければ幸いです。



前途に希望を抱く力強い眼

浅香 佐輝子（木曜日担当）

久しぶりに美術館に行き、アルフォンス・ミュシャ展を観ました。女性の詩人と言われていたミュシャは、20世紀初頭、美しい女性像をポスターに描きました。初めて観た大学生の頃は、美しい女性像に、ただただ驚嘆し、ポスターを買って額に入れ、その美しさを楽しんだものでした。

しかし今回は、ミュシャが描いた時代によって、随分と女性の表情に違いがある事を感じました。若くまだ売れず極貧だった頃は、前途に希望を抱く力強い眼、やがて世の中に受け入れられ、持て囃される様になると、高慢さをうかがわせる眼、売れて忙し過ぎると、絵自体も雑で、もう描きたくない！という様な疲れた眼、晩年は、愛する祖国が戦火にのまれ、悲しみを湛えた母の眼へ…。どれも美しい女性でありながら、描き手の心は眼に表れるのだなと感じました。

結局のところ、今も最も好まれるポスターは、初期に描かれた、前途に希望を抱く力強い眼。初心忘るべからずとは、よく言われる事ですが、本当に難しい事だと思います。

皆さんも、大学の4年間で、何を学び、どうなりたいのか？考えてみて下さい。もしも迷いや、悩みが出てきたら、どうぞ学生相談室を利用して下さいね。

